

「JAPAN VALUE」を世界に発信！  
才能あるデザイナーやアーティストと出会い、応援するアートとデザインのコンペティション

## 「Tokyo Midtown Award 2016」 開催決定！

東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)は、次世代を担うアーティストやデザイナーの発掘・応援を目的とした「Tokyo Midtown Award 2016」を、<アートコンペ>と<デザインコンペ>の2部門で開催いたします。

今年で9回目となる「Tokyo Midtown Award」は、東京ミッドタウンが「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街をコンセプトに、才能あるデザイナーやアーティストとの出会い、応援を目指して開催します。前回まで延べ応募者数約12,000組の中から、アートコンペでは39組、デザインコンペでは69組の受賞者が生まれました。商品化へのサポートも行っているデザインコンペにおいては、2015年度は4つの新商品が発売決定するなど、受賞者の活躍の場も広がっています。

### アートコンペ

**テーマ：応募者が自由に設定**

**募集期間 5月12日(木)～6月2日(木)必着**

テーマを設けずに、東京ミッドタウンという場所を活かしたサイトスペシフィックな作品を募集します。都市のまん中から、発信したいメッセージをアートで自由に表現してください。

グランプリ受賞者を University of Hawai'i のアートプログラムに招聘。各受賞者には、東京ミッドタウン内で行われる「ストリートミュージアム」(2017年初春予定)での作品展示の機会を設けるなど、若いアーティストが作品発表する場を豊富に提供してまいります。

### デザインコンペ

**テーマ：Anniversary**

**募集期間 6月24日(金)～7月25日(月)必着**

2017年春、東京ミッドタウンは10周年を迎えます。1年の中には様々な記念日があります。この“アニバーサリー”を彩る、日本の心づかいが感じられるような作品を募集します。

若手デザイナーのアイデアが日本の技術、伝統素材と出会い、日本のものづくりに革新をもたらすことを目指しております。デザインによって日本のものづくりに新たな価値を与えられるような作品を選出し、受賞後に商品化サポートを行ってまいります。

#### NEW!

アートコンペ審査員に、新たにジャーナリストの川上典李子氏、アーティストの鈴木康広氏が加わります。2016年度は7名の審査員で審査を行います。



#### 結果発表・授賞式

受賞作品発表・授賞式は、2016年10月14日(金)に行う予定です。



#### 「Tokyo Midtown Award」シンボルマークについて

東京ミッドタウンを舞台に多くの才能が羽ばたいていくことを期待し、様々な才能が出会い・交差する、ハートに囲まれた才能の交差点を表現しています。

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■ 東京ミッドタウン・コールセンター TEL: 03-3475-3100

■東京ミッドタウンホームページ■ [www.tokyo-midtown.com](http://www.tokyo-midtown.com)

■Tokyo Midtown Award 2016 ホームページ■ <http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>

## Tokyo Midtown Award 2016 開催概要

部門	アートコンペ	デザインコンペ
応募期間	2016年5月12日(木)～6月2日(木)必着	2016年6月24日(金)～7月25日(月)必着
テーマ	<p style="text-align: center;">応募者が自由に設定</p> <p>東京ミッドタウンという場所を活かしたサイトスペシフィックな作品を募集します。テーマを設定し、都市のまん中を多くの人々が行き交う場所で発信したいメッセージを、アートで自由に表現してください</p> <p>(展示サイズ①: 約H250×W200×D200cm) (展示サイズ②: 約H318×W400×D70cm)</p>	<p style="text-align: center;">Anniversary</p> <p>2017年春に東京ミッドタウンは10周年を迎えます。そして、わたしたちの周りには、様々な記念日があります。そんな“アニバーサリー”を彩る、日本の心づかいが感じられるような作品を募集します</p>
提出物	作品案: ジャンルは問いません。但し未発表作品案に限ります	
応募資格	<p>1. 個人またはグループ (1グループ1作品案までとします)</p> <p>2. 国籍は問いません 但し、審査・設営・撤去にあたり、事務局の指定する日時に東京ミッドタウンに来館できること</p> <p>3. 応募書類提出時点で39歳以下の方 ※グループの場合、メンバー全員が条件を満たすこと</p>	<p>1. 個人またはグループ (1グループ何作品案でも応募できます)</p> <p>2. 国籍は問いません 但し、展示準備期間(2016年8月下旬～10月中旬)に日本に在住または滞在していること</p> <p>3. 応募書類提出時点で39歳以下の方 ※グループの場合、メンバー全員が条件を満たすこと</p>
応募方法	<p>応募用紙に記入のうえ、事務局へ送付 ※応募用紙・募集内容詳細は、東京ミッドタウンオフィシャルサイト(<a href="http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/">http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/</a>)からダウンロード可能です</p>	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次審査(6月26日(日)) 提出書類による審査 通過者のみ書面にて通知</li> <li>・2次審査(7月27日(水)) 模型およびプレゼンテーション審査後、入選作品(6点)決定 ※報道関係者、一般向けに公開審査をいたします</li> <li>・最終審査(10月4日(火)) 入選者完成作品審査: 各賞を選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類審査(8月10日(水)) 提出書類による審査で入賞予定者を選定</li> <li>・意匠権調査(8月中旬)</li> </ul>
※授賞式は2016年10月14日(金)に開催予定		
賞	<p>グランプリ(1点): 100万円 準グランプリ(1点): 50万円 優秀賞(4点): 10万円</p> <p>☆グランプリ受賞者をUniversity of Hawai'iのアートプログラムへ招聘します。(※1) ※入賞者ひとり(または1組)につき制作補助金100万円支給。また、副賞としてトロフィーを贈呈 ※賞金総額: 790万円(制作補助金含む) ※各賞については「該当なし」となる場合があります ※各受賞者には、受賞作品の展示の他に、東京ミッドタウン館内に作品を展示する「ストリートミュージアム」(2017年初春予定)で作品発表の機会を提供します(※2)</p>	<p>グランプリ(1点): 100万円 準グランプリ(1点): 50万円 優秀賞(1点): 30万円 審査員特別賞(5点): 5万円</p> <p>☆グランプリ受賞者を「ミラノサローネ国際家具見本市」開催中にイタリア・ミラノへご招待します(グループの場合は2名まで)(※3) ※賞金総額: 205万円 ※入賞者ひとり(または1組)につき、副賞としてトロフィーを贈呈します ※入賞作品は発表後、1年間東京ミッドタウン館内に展示します ※各賞については「該当なし」となる場合があります ※入賞作品は、商品化に向けたサポートを行います(※4)</p>
主催	東京ミッドタウン( <a href="http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/">http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/</a> )	
協力	TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE	東京ミッドタウン・デザインハブ、株式会社JDN
後援	University of Hawai'i at Mānoa / Department of Art and Art History (※1)	—

各※印の注釈については 4P をご確認ください

## Tokyo Midtown Award 2016 審査員

今年度より、アートコンペに 2 名の新たな審査員を迎え、アートコンペは 7 名、デザインコンペは 5 名の審査員で審査を行います。

部門	アートコンペ	デザインコンペ
審査員	<p>■川上典李子 (新任) (ジャーナリスト / 21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター)</p> <p>■児島やよい (キュレーター / ライター / 慶應義塾大学、明治学院大学非常勤講師)</p> <p>■清水敏男 (東京ミッドタウン・アートワークディレクター / 学習院女子大学教授)</p> <p>■鈴木康広 (新任) (アーティスト / 武蔵野美術大学准教授 / 東京大学先端科学技術研究センター客員研究員)</p> <p>■土屋公雄 (彫刻家 / 愛知県立芸術大学教授 / 武蔵野美術大学客員教授)</p> <p>■中山ダイスケ (アーティスト / アートディレクター / 東北芸術工科大学教授)</p> <p>■八谷和彦 (メディア・アーティスト / 東京藝術大学准教授)</p>	<p>■小山薫堂 (放送作家 / 脚本家 / 東北芸術工科大学教授)</p> <p>■佐藤 卓 (グラフィックデザイナー)</p> <p>■柴田文江 (プロダクトデザイナー / 武蔵野美術大学教授)</p> <p>■原 研哉 (グラフィックデザイナー / 武蔵野美術大学教授)</p> <p>■水野 学 (クリエイティブディレクター / 慶應義塾大学特別招聘准教授)</p>

### ＜アートコンペ 新たに加わった審査員＞



Photo : Takaaki Koshihara

**川上 典李子(かわかみ のりこ)**  
ジャーナリスト / 21\_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター

「AXIS」誌編集部を経て、1994 年～1996 年、ドムスアカデミー リサーチセンターの日伊プロジェクトにエディトリアルディレクターとして参加。2007 年より 21\_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター。2014 年には「活動のデザイン展」を共同ディレクション。桑沢デザイン研究所 非常勤講師。

#### ＜メッセージ＞

幅広くさまざまな人が訪れ、過ごす「東京ミッドタウン」におけるアートを募るコンペであることに加え、応募者が自由にテーマを設定できることも Tokyo Midtown Award アートコンペの醍醐味です。街とアートとの関係をどう考えているのか、何を伝えるのか。都市の街そのものに対するメッセージもあることでしょう。普段は展示会会場に足を運ばない人々も立ち止まって作品をじっくり鑑賞する時間が生まれるような、新たな提案、意欲作で、アートの可能性を存分に示していただけることを期待しています。



Photo : Masako Nakagawa

**鈴木 康広(すずき やすひろ)**  
アーティスト / 武蔵野美術大学准教授 / 東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

1979 年静岡県生まれ、2001 年東京造形大学デザイン学科卒。  
日常の見慣れた事象を独自の「見立て」によって捉え直す作品を制作。  
公共空間でのコミッションワーク、大学の研究機関や企業とのコラボレーションにも積極的に取り組んでおり、瀬戸内国際芸術祭 2010 では全長 11 メートルの《ファスナーの船》を出展。  
2014 年水戸芸術館 鈴木康広展「近所の地球」、金沢 21 世紀美術館 鈴木康広「見立て」の実験室を開催。2014 毎日デザイン賞受賞。

#### ＜メッセージ＞

「ずっとここにあるけれど、今この瞬間のためにつくられたのではないか」「作者は見ず知らずの私のためにつくってくれたのではないか」作品に出会った人がそう信じてしまう理由こそが人間存在の根幹に関わる一つのテーマであり、観客にとってはかけがえのない瞬間となる。作品は個との邂逅によって最高のものへと昇華すると思う。特に今回のようにパブリックスペースに設置されるアートはその可能性が最大限に発揮される現場だ。物理的に定着されたはずの作品が、社会や環境の思わぬ変化によってその姿を変えて見せ、人の心を動かす。科学とテクノロジーの進展によって、未来が限りなく予測可能になったとしても、その果てにはアートにしかできないことが残ると思う。

## Tokyo Midtown Award 2016 受賞者支援



▲※1 ハワイ大学アートプログラムに参加中の田島大介氏



▲※2 ストリート・ミュージアム 昨年の様子



▲※3 2014年サローネサテリテ会場(©JDN)

### ◇ アートコンペグランプリ受賞者をハワイ大学のプログラムに招聘(※1)



アートコンペグランプリ受賞者を University of Hawai'i の Department of Art and Art History が実施するアートプログラムに招聘いたします。数多くのアーティストや学者が招かれる歴史ある本プログラムに、これまでに3名のグランプリ受賞者が参加しました。実際にハワイに滞在し、ハワイの芸術文化に触れ、ハワイ大学の多彩なアートプログラムに参加しながら作品を制作する機会が与えられます。

### ◇ 「ストリートミュージアム」実施(※2)

アートコンペ受賞者の支援として 2017 年初春に展示企画「ストリートミュージアム」を実施予定です。東京ミッドタウンのオープンスペースで新たな作品発表を行う機会となり、今年も「Tokyo Midtown Award 2015」のアートコンペ受賞作家6組がアート作品を展示します(2016年3月18日(金)~4月17日(日) / 東京ミッドタウンプラザB1)。また、今秋開催予定の「六本木アートナイト」へも特別参加し、ワークショップの開催なども予定しています。

### ◇ デザインコンペ グランプリ受賞者をミラノサローネ国際家具見本市開催中、イタリア・ミラノへご招待(※3)

デザインコンペ グランプリ受賞者を、毎年4月に開催される「Salone del Mobile Milano / ミラノサローネ国際家具見本市」開催中に、イタリア・ミラノへご招待いたします。世界最大規模の家具見本市として開催される「ミラノサローネ」は、デザイナーが自身の作品を発表できる展示場「サローネサテリテ」が設けられ、若手デザイナーの登竜門的な場所としても知られています。

### ◇ デザインコンペ 受賞作品商品化サポートについて(※4)

東京ミッドタウンは、「Tokyo Midtown Award」デザインコンペの受賞作品を商品化するためのサポートを行っています。過去8回の実施で、計12作品が商品化、全国各地のセレクトショップなどで販売されています。



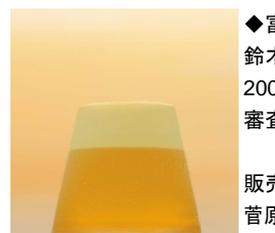
◆kokki  
山本悠平  
2014年度  
優秀賞

販売元:  
小田陶器株式会社



◆歌舞伎フェイスパック  
小島 梢  
2008年度学生の部  
準グランプリ

販売元:  
株式会社一心堂本舗



◆富士山ガラス  
鈴木啓太  
2008年度  
審査員特別賞

販売元:  
菅原工芸硝子株式会社

## 参考:Tokyo Midtown Award 2015 グランプリ受賞作品



**アートコンペ** テーマ:応募者が自由に設定  
作品名 : 『五金超大国Ⅱ』  
受賞者 : 田島大介



**デザインコンペ** テーマ:おもてなし  
作品名 : 『ことはね』  
受賞者 : 吉田貴紀 / 栗原里菜